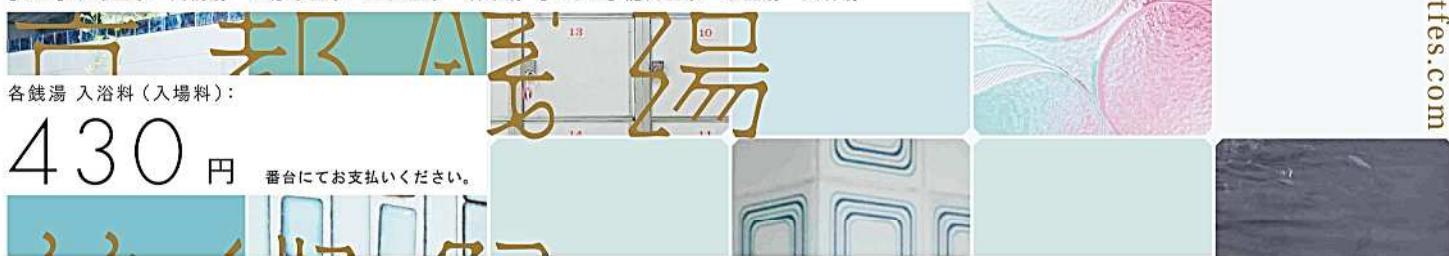




2014年9月27日(土) — 10月26日(日)

会場：京都市北区・上京区にある銭湯8店舗 ※定休日・営業時間（観覧時間）は各銭湯により異なります。
[北区] 紫野温泉・門前湯・大徳寺温泉・加茂温泉・若葉湯 [上京区] 龍宮温泉・京極湯・長者湯



September 27 — October 26, 2014

Murasakino-Onsen, Monzen-Yu, Daitokuji-Onsen, Kamo-Onsen, Wakaba-Yu, Ryugu-Onsen, Kyogoku-Yu, Chojya-Yu

Artists: Syu Ogasawara / Noriko Kusaka / Aya Komatsu / Kiiroie / Chibiguts / Lisa Kousaka / Yuya J. Morimoto

Masaki Goto x Yoichiro Honda / Raita Yoshida

Yumiko Ono x Yurina Shiomi / Hayaki Nishigaki x Chihiro Ogura / Yasuko Inoue x Nozomi Takemura



www.kyotosentoartfes.com



September 27 — October 26, 2014
Murasakino-Onsen, Monzen-Yu
Daitokuji-Onsen, Kamo-Onsen, Wakaba-Yu
Ryugu-Onsen, Kyogoku-Yu, Chojya-Yu
Artists: Syu Ogasawara / Noriko Kusaka
Aya Komatsu / Kiiroie / Chibiguts
Lisa Kousaka / Yuya J. Morimoto

Masaki Goto x Yoichiro I
Yumiko
Hayaki Nishi
Yasuko Inoue



都
者



www.kyotosentoartfes.com

「京都の銭湯にはまだ見ぬ魅力が隠れている…！」

私たち京都銭湯藝術祭は、優れたアーティストを集め、その魅力を掘り出すべく動き出した。

銭湯は、ただ汗を流す場ではない。ただ広い湯船があるだけではない。

そこには、男と男、女と女、人間と人間が、裸で語り合う文化があるのだ。

作品を見ながらおじいちゃんの背中を流すのも良し！小さい子どもに芸術を説くも良し！

五感を揺さぶる芸術作品が、あなたの脳の髄まで、あたためます。

開催概要

今年、歴史と文化の都・京都に、銭湯を舞台にした新しい藝術祭が誕生します。銭湯は古来より、老若男女が寄り集まる社交場としての役割があります。そして、銭湯にはそれぞれの地域の特性が色濃く映されています。街中を見渡しても、類を見ない独自の価値を継承した場所だといえるのではないでしょうか。

本藝術祭では銭湯とアートをむすぶことで、双方の新たな展開を探ります。アーティストは、銭湯を創作のプラットフォームとし、そこに関わる人々に介入しながら作品づくりを行います。そして彼らは、銭湯とアートが互いに触発しあって起こる化学反応を大きな核としながら、多くの人々を魅了する銭湯へと変貌させ、現在の私たちに見合う、リアルな関係性を体感できる場を築いていきます。

〈名称〉 京都銭湯藝術祭2014 / Kyoto Sento Art Festival 2014

〈日程〉 2014年9月27日（土）～10月26日（日）

定休日・営業時間（観覧時間）は各銭湯により異なります。

〈会場〉 京都市北区、上京区にある銭湯8店舗

紫野温泉・門前湯・大徳寺温泉・加茂温泉・若葉湯（京都市北区）

龍宮温泉・京極湯・長者湯（京都市上京区）

〈入場料〉 各銭湯 大人：430円 小学生：150円 小学生未満：60円

当日番台にてお支払いください。

※ 2014年8月より京都府内の銭湯入浴料が値上がりし、それに伴い

当藝術祭入場料（観覧・入浴料込み）も変更になりました。

〈出品者〉 小笠原周、きいろいいえ、小松綾、日下典子、福田ちびがっつ翔太、

香坂リサ、森本J.遊矢、後藤雅樹 × 本田陽一郎、吉田雷太、他

〈主催〉 京都銭湯藝術祭実行委員会 / Kyoto Sento Art Festival Executive Committee

〈協力〉 京都府公衆浴場業生活衛生同業組合

〈協賛〉 株式会社ディーエイチシー



〈後援〉 京都市

平成26年度 京都市「学まちコラボ事業（大学地域連携創造・支援事業）」奨励事業

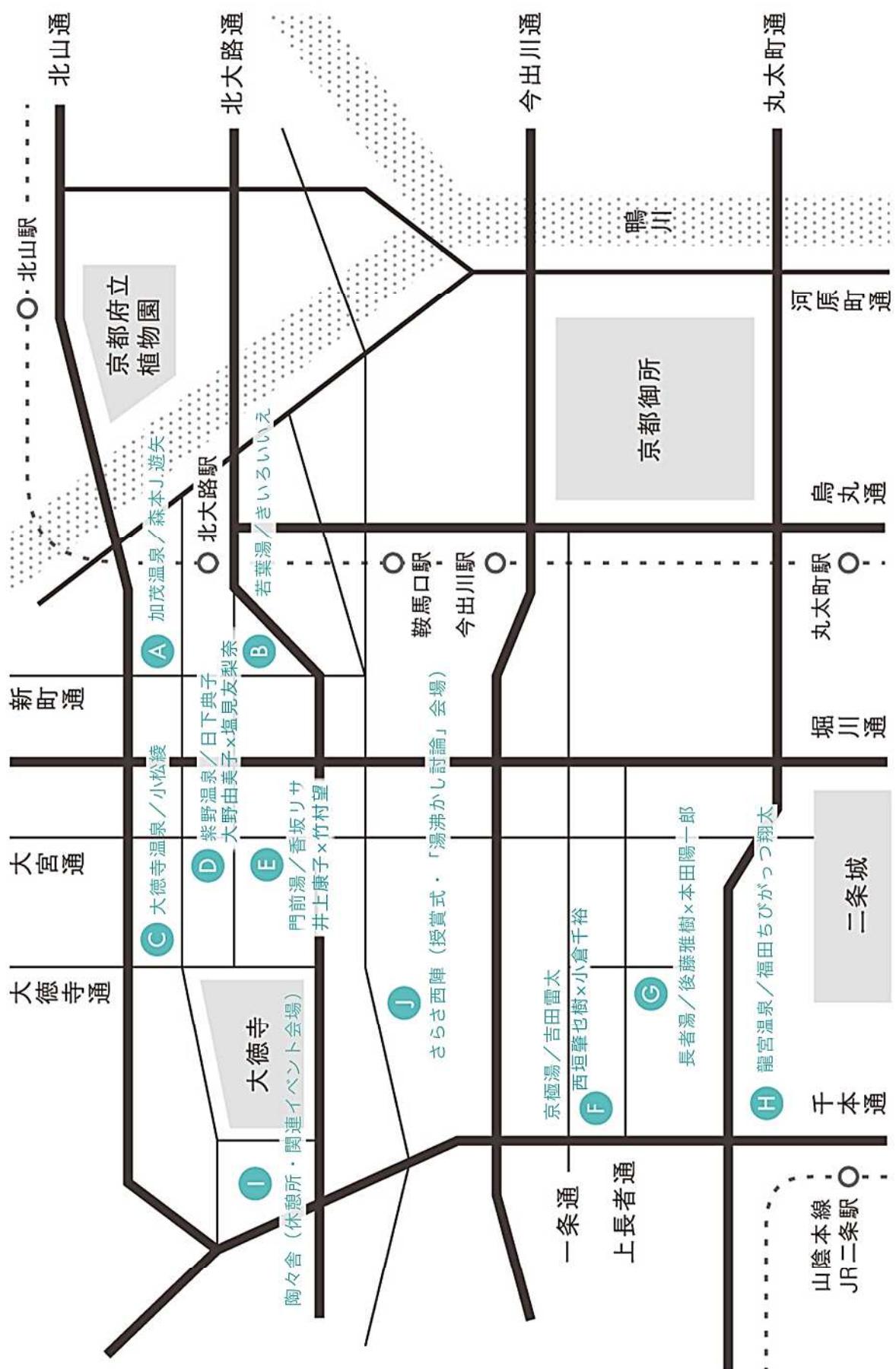
平成26年度 京都府「地域力再生プロジェクト支援事業」申請中

KYOTO EXPERIMENT 2014

京都国際舞台藝術祭 Kyoto International Performing Arts Festival

KYOTO EXPERIMENT 2014 フリンジ企画「オープンエントリー作品」

開催場所・展示場所





(上映映像内の一場面)



(加茂温泉での上映風景)

タイトル：銭湯一夜物語／Sento Tales
素材：映像（HDビデオ）、スクリーン

芸術祭を開催している8店舗の銭湯の関係者や、常連さんに出演してもらい短編映画を制作。加茂温泉の脱衣所にスクリーンを設置し、浴室内からも薬湯に浸かりながら鑑賞出来る映画館になりました。芸術祭開催期間の1ヶ月間のほぼ毎日、時間を変更して上映。1週目から3週目はドラマ形式で第1章～第3章（各15分）を上映し、4週目は第1章～第3章を上映しました。



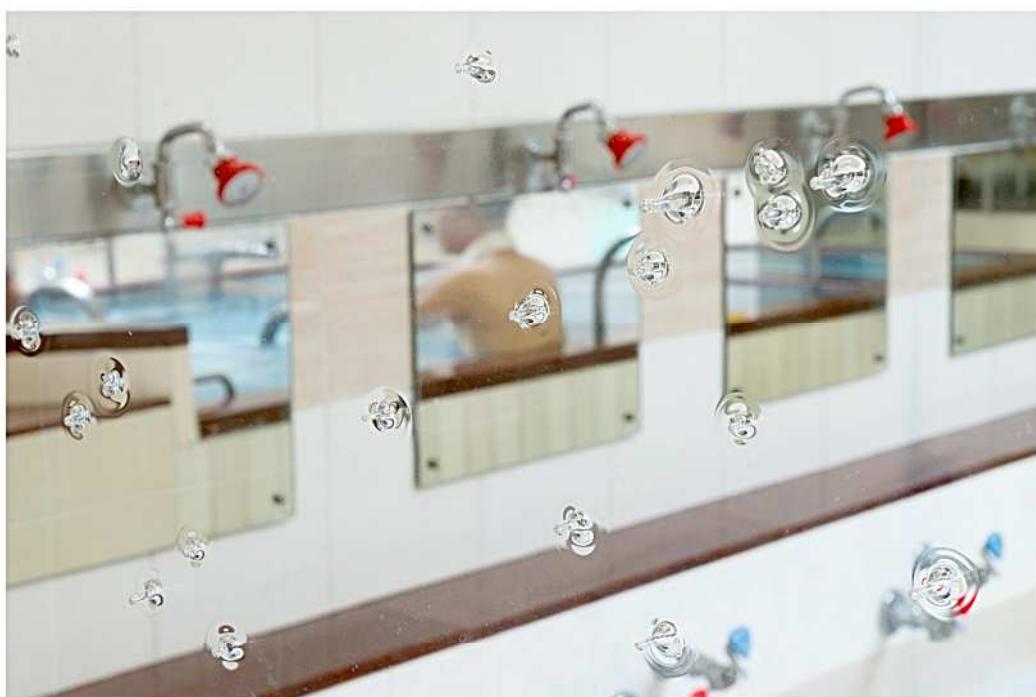
(若葉湯での作品展示風景)

タイトル：「若葉」「時間」／「fresh green」「time」

素材：牛乳瓶、ハーブ、和紙、写真、人工芝、タイルなど



若葉をテーマに浴室内・脱衣所に植物を増やすなど空間全体を使った作品を作りました。手作りうちわを制作し、お客様にプレゼント。代わりに牛乳瓶を回収し、その牛乳瓶でハーブを育てました。育ったハーブはハーブ湯に使われます。また、若葉湯のご主人がてがけた石庭を撮影、拡大し、パネル作品に使用しました。



タイトル：水鏡／mirror of water
素材：透明アクリル板、アクリルミラー

浴室・脱衣所の鏡の一部分に透明な水滴のような造形物を展示しました。鏡に映った顔が歪んだり、実際の水滴と重なる雲の形が美しく、普段の銭湯が幻想的になりました。



(紫野温泉女湯展示風景)



タイトル：人体（部分）／The human body
素材：油彩、キャンバスにフィンガーペイント。
又はアクリル、スラブボイル

筆ではなく指を使い肌の質感を描いた油絵の作品、薄く透ける布を使った透明感のある作品が展示されました。女湯の露天風呂には、巨大な女性の裸体、男湯にはがっちりとした男性の裸体が飾られています。

(紫野温泉男湯展示風景)



(紫野温泉脱衣所内展示風景)



(紫野温泉浴室内展示風景)

タイトル：M=/connect/=W

素材：蛇口、マイク、スピーカー、キネクト、ラジオ、他

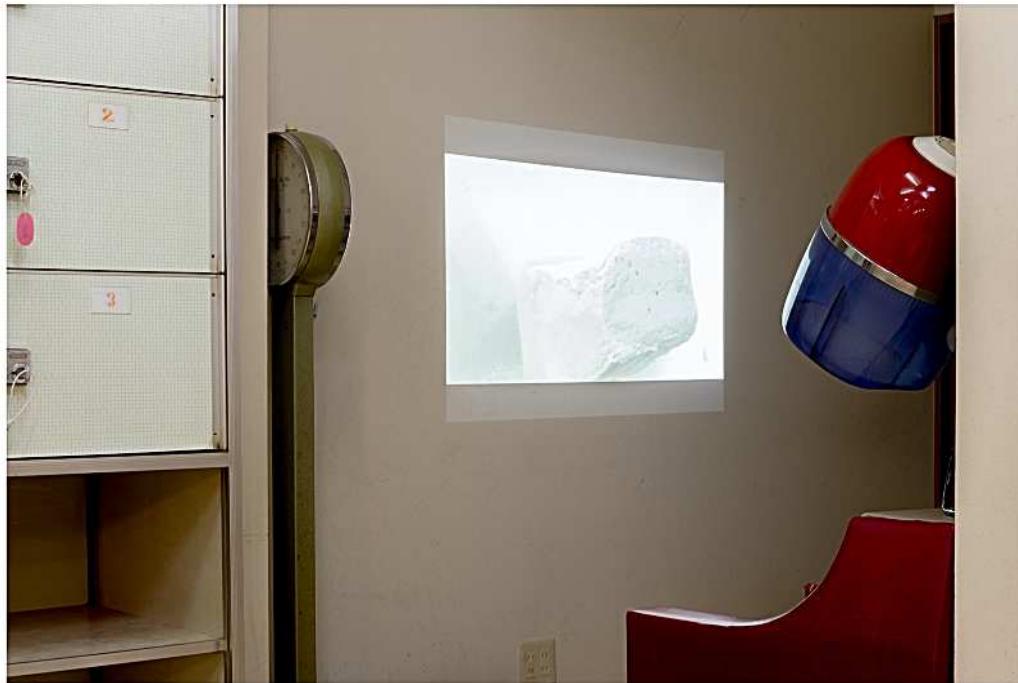
脱衣所には、モーションセンサーとラジオを使った実況中継を行う装置を設置し、男湯と女湯でそれぞれお互いのプライベートな空間を体験します。

浴室内にはマイクとスピーカーを使った交信機を展示。マイクに話しかけると、もう一方の性別の浴室内にある蛇口から声が出る仕組みになっています。男湯から女湯へ、女湯から男湯へ、見えない誰かに話しかける作品です。



タイトル：門前湯雲触門／The clouds gate、湯屋絵巻／The clouds screen
素材：ミクストメディア

絵巻物で場面転換の際に使われる金雲を鏡に覆い、あたかも自分が作品の一部に取り込まれ、絵画の登場人物になるような平面作品を展示しました。また、浴室と脱衣所を隔てるガラス扉には、温度で色が変わる塗料を用いた平面作品を展示。体温や冷水で変化します。



タイトル：浸透／osmosis

素材：プロジェクター、モニター、水槽、豆腐、井戸水、他

銭湯や銭湯の跡地、銭湯にまつわる風景を探りたいという思いから、銭湯の周辺をフィールドワークし、同じ地下水の恵みを受ける銭湯と豆腐の関係に辿り着きました。銭湯に豆腐を置き、毎日銭湯に通いながら、毎日豆腐の世話をする。その中で出会う人たちと接しながら、今は地下に埋まり見えなくなった川のように、見えなくても脈々と存在している出会いに気付きます。



(京極湯での作品制作風景)



(京極湯作品展示風景)

タイトル : Change a Face

素材 : A4写真用紙・水性顔料マーカー・ラミネートフィルム・マスキングテープ

銭湯に来たお客様の顔写真を撮影し、その場でプリントアウトし、アーティストがその上から模様を描きます。お客様は描いてもらった自分の顔写真を、銭湯内に展示されている他の人の顔写真と交換し持ち帰ります。自分の顔写真はどこかの誰かが受け取り、作品はいろんな場所へと旅立ちます。



タイトル:スクロール／scrolling
素材：アクリル、ターポリン

銭湯という場所で、何の前触れもなくゲリラ的にオペラを公演する。男性、女性それぞれ2名ずつ歌い手がいて、クライマックスに近づくにつれて、合唱が始まる。天窓には舞台装置として、スマートフォン等で使われる、LINEというアプリの吹き出しをモチーフにした絵を設置している。



タイトル：非時香菓（ときじくのかくのこのみ）

素材：金属、木、紙、樹脂、植物他

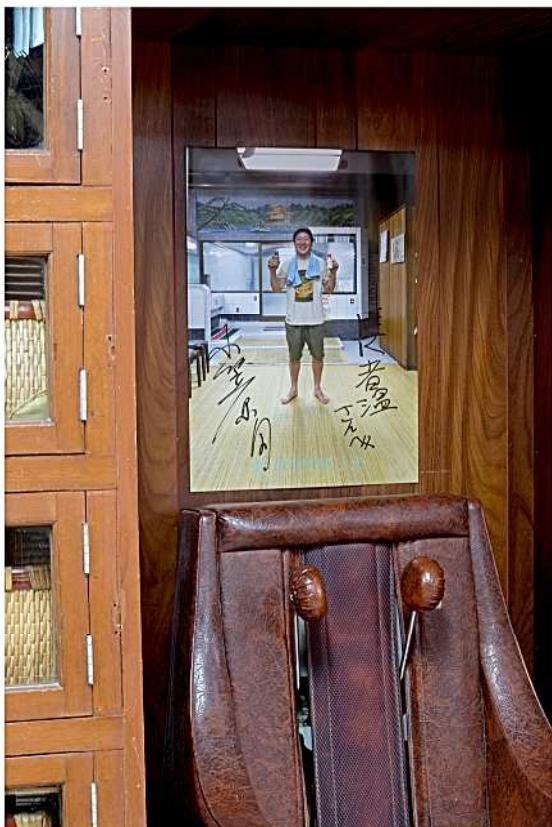
太古の湯をテーマに作品を設置している。長者湯の入口には橘の木が植えられ、柑橘の匂いを漂わせる。中に入ると、植物が室内照明のケースの中に添えられ、季節によって青葉から枯葉に変化。浴室内には、大きな植物群が天窓に設置されいつもとはひと味違う長者湯が楽しめる。



タイトル：龍宮ガツ温泉／RYUGU GUTS ONSEN
素材：紙、写真、ラミネート、TV、映像、石鹼、ビニールテープ、幕、スプレー など

銭湯をガツツに溢れる空間へと変化させる作品群。龍宮の屋号をテーマに、石鹼で彫刻した作品や、天窓に大きな絵を垂らすなど、銭湯の至る所に展示しました。石鹼の彫刻は、お客様に使ってもらい、会期が終わる頃には削られてつるるっていました。

全銭湯／小笠原周



タイトル：ザ・銭湯アーティスト
the bathhouse artist

素材：ポスター、ビール

全銭湯にアーティスト自身のポートレイトのポスターを展示。各銭湯内で撮影されたポスターは、男湯では正面を向いており、女湯では後ろ姿となっている。また、全銭湯を巡回し、不定期でお客さんと脱衣所にて一緒にビールを飲むというパフォーマンスを行った。パフォーマンスを行った銭湯のポスターには、アーティスト本人のサインが記されている。